

純正ミラー交換タイプ

8.8インチ デジタルミラー

【取扱説明書】

MR-Aシリーズ

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	2
■付属品	4
■本体各部名称	5
■取付作業の前に	6
■取付時のご注意	7
■本体の取付	8
■配線方法	9
■リアカメラの取付	11
■電源のON/OFF	13
■輝度調整	14
■表示範囲調整	15
■バック連動	16
■お手入れについて	16
■製品仕様	17
■商品保証書	18

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- ルームミラーとデジタルミラーには死角があります。事前に死角範囲を確認してご使用ください。
- 運転前は、必ずルームミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、対象物の大きさが異なります。
- ミラーの反射、カメラに着雪や水滴、ほこりが付いているなどでディスプレイに表示される映像が見えにくい場合や後続車のライトのちらつきや圧迫感が気になる場合は、ルームミラーモードに切りかえてください。
- カメラを車内に設置した場合、バックドアが開いているときは、デジタルミラーの映像が正しく表示されません。走行前に必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。
- ディスプレイが反射して見えにくい場合は、サンシェード(ツインムーンルーフ装着車)を閉めてください。
- 夜間など暗いところでは、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。
 - ・映像の色と実際の色が異なって見える
 - ・後続車のライトの高さなどによっては、後続車の周囲が白くぼけて見える
 - ・周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特融のちらつきが発生する映像が見えにくい場合や、ちらつきが気になる場合は、ルームミラーモードに切りかえてください。
- 使用中にデジタルミラー本体やカメラが発熱することがありますが、異常ではありません。
- 体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じたときは、ルームミラーモードに切りかえてください。
- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、モニター画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 初めての走行前や運転者が変わる場合には、必ず安全な場所に停車してミラーの調整を行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行わずに走行すると、映像が2重映りする場合があります。
- 周囲が暗い場所では周辺を明るく見せるためにデジタル信号処理を実施しているため、特有のちらつきが発生することがあります。
- 主に同乗者がディスプレイを凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12Vマイナスアース車専用です。
12V車以外では使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。

安全上のご注意

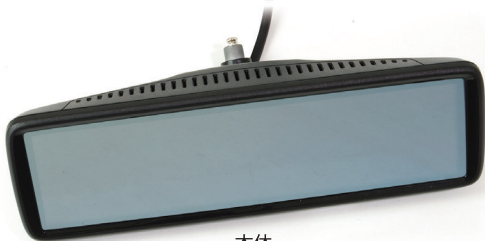


注意

- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれカメラが脱落するおそれがあります。

- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 窓ガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

付属品



本体



電源ケーブル



本体取付ステー



リアカメラ接続ケーブル



配線カバー

車外設置リアカメラ



または

車内設置リアカメラ + 調整アダプター



取付アダプター



※本書で使用している写真は、実際の製品と異なる場合があります。
※仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



液晶モニター



取付ステー接続部

電源ボタン

取付作業の前に

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤーが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。

■作業の進め方

- 1.同梱物を確認する
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.ミラー本体を取り付ける
- 4.本体と各ケーブルを接続する
- 5.リアカメラを取り付ける
- 6.バッテリーのマイナス端子を元に戻す
- 7.カメラ角度を微調整する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2.本体に電源ケーブル、リアカメラを接続する。
- 3.電源ケーブルのACC、BATTをヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
- 5.動作確認する(リアカメラ映像表示、明るさ・画面拡大調整)
- 6.電源OFFする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。



マイナス端子を外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
- カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

取付時のご注意

- 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
- 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取付を行ってください。
- 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 本製品を動作するには定格DC12Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。
複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。
その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
- 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディと接触するとショートします。
- リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。

本体の取付

記載の取付手順は一例です。 ※取付前に仮配線して動作確認してください。

1



純正ミラーを根元から外します。
※外し方が判らない場合はディーラーへ
お問い合わせください。

2



ミラー本体のネジを外し、取付ステーを
取り付け、外したネジを差し込み固定
します。

3



ステーをウェッジマウントに差し込み、
純正ミラーの固定ネジを利用して
本体を固定します。

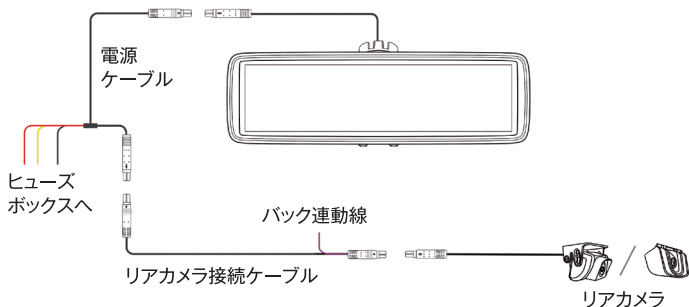
4



配線カバーを使用する場合は、車両に
合わせて適宜切り落とし長さを調整し
取付ステーに取り付けます。

配線方法

■配線イメージ



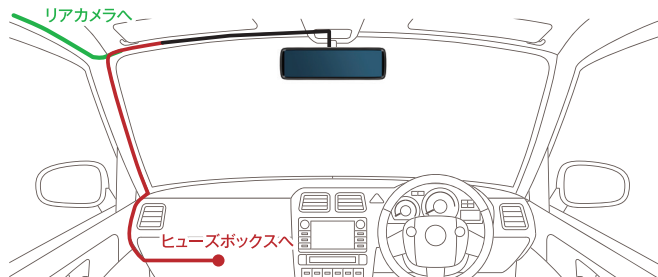
■配線方法

車両の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。

- 1 本体から出ているコネクターと電源ケーブル・カメラ接続ケーブルをカチッとロックがかかるまで挿入します。

※コネクターの名称、矢印方向(向き)をご確認の上、奥までさしてください。
無理に接続すると中のピンが曲がってしまい動作不良の原因になります。

- 2 ケーブルをルーファイニング内に押し込みます。
ルーファイニング、フロントサイドピラーライニング内を通して、電源ケーブルをヒューズボックスまで引き回します。



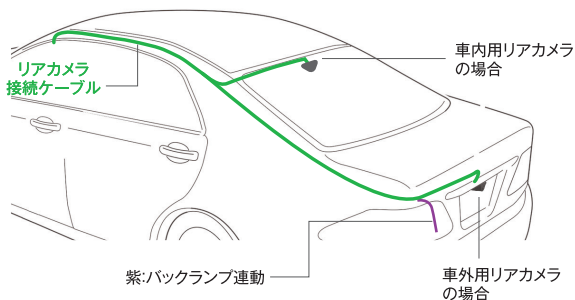
配線方法

- 3 電源ケーブルをヒューズボックス内の対応するヒューズに差し込み、アースを接続します。



※付属のヒューズは10Aミニ平型です。

- 4 リアカメラ接続ケーブルをピラー内部を這わせて後部に通し、リアカメラに接続します。



※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

リアカメラの取付

■車外設置用リアカメラの場合

ナンバープレート上部に両面テープで貼り付けます。

※イメージ



車外取り付け上のご注意

●本製品のカメラを指定通り正しく取り付けないと「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。

※道路運送車両の保安基準とは「道路運送車両の保安基準第18条及び細目を定める告示第178条」をいいます。

●カメラブラケットやカメラ後部が車両に隠れるようにリアガーニッシュやリアスポイラーなどの下面に取り付けてください。

●ナンバープレートのナンバーがカメラで隠れないように注意してください。

■車内設置用リアカメラの場合（取付アダプターの場合）

リア窓ガラス内側の下記条件を満たす位置に両面テープで貼り付けます。

※イメージ



推奨取付位置

- ワイパーの可動範囲にカメラ部がかかる位置
- 後方および左右に対して水平方向を向く位置

- レンズ部分が熱線と重ならない位置
- 接続ケーブルが無理なく引き回せる位置



カメライメージセンサーの仕様上、内部発熱により筐体表面や角度調整レバー部分の温度が上昇します。使用中、使用後しばらくは大変熱くなっておりますので直接触れないでください。

リアカメラの取付

■リアカメラ調整アダプターについて(車内設置リアカメラ)

N-BOXなど、リアガラスが垂直になっている車種のリアカメラの取り付けには、角度調整アダプターを使用してください。

- カメラレンズを水平に向けることができます。
- 使用しないと映像がやや地面側に向きます。

【アダプター装着前】

【アダプター装着後】



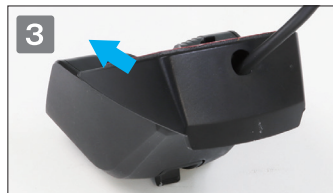
■アダプター装着方法



1 リアカメラから取付アダプターをスライドさせて外します。



2 角度調整アダプターの配線逃し口のゴムを外します。



3 リアカメラの配線を通しながら、角度調整アダプターを装着します。



4 角度調整アダプターをこの位置まではめ込みます。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動 (ACCをON) すると自動的に起動します。

起動後リアカメラ映像を画面に表示します。

※前回エンジンを切る前に画面表示OFFの状態にしていた場合は、エンジン始動後も画面表示OFFのままになります。



■電源のOFF

車両のエンジンを停止 (ACCをOFF) すると、自動的に電源OFFになります。



■本機の電源を手動でOFFにする

本機の電源がONのときに電源ボタンを長押しすると電源OFFになります。

電源OFFの状態ですら1回長押しすると電源ONにできます。

輝度調整

電源ボタンを1回短押しするごとに画面の明るさを調整できます。

高→中→低→表示OFF→低→中→高…と切り替わります。

工場出荷時は中(標準)に設定されています。

※イメージ



本体電源OFF時の状態で保存され、次回起動時の画面表示に反映されます。

表示範囲調整

電源ボタンを2回短押しすること映像を拡大・縮小し、表示範囲を調整できます。縮小すると広範囲を表示、拡大すると通常のミラーに近い距離感で表示されます。1.0x→1.2x→1.5x→2.0x→1.5x→1.2x→1.0x…と切り替わります。工場出荷時は1.0xに設定されています。

※イメージ



本体電源OFF時の状態で保存され、次回起動時の画面表示に反映されます。

バック連動

車両のリバース信号に連動して画面が切り替わります。
デジタルミラーモードに比べ車両後方の広域映像が表示されます。
同時に車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。
車両後退時の安全確認をサポートします。



※バック連動するには本体を電源ONにしてください。
また、バック連動線を正確に接続してください。

お手入れについて

■デジタルミラー本体

ミラー表面が汚れていると映像が見えにくくなることがあります。あらかじめ乾いた柔らかい布などで汚れをそっと拭き取ってください。

■カメラ

カメラのレンズが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴やホコリなどが付着した時は水で湿らせた柔らかい布でレンズを清潔にしてください。

車内設置の場合、清掃する際はリアウインドウガラスの内側も同様に清掃してください。

製品仕様

モニター	8.88インチIPS液晶(1920×480pixel)
リアカメラ画角	車外設置カメラ: 水平120°／垂直67°／対角137° 車内設置カメラ: 水平80°／垂直45°／対角90°
使用温度範囲	-20°C～70°C
フレームレート	30fps
電源	DC12V専用

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp
へお問い合わせください。

■メモ

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for taking notes or drawing.

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for taking notes or drawing.

MAXWIN